

CDP「気候変動レポート2023」において 「B」スコアと評価されました

株式会社キタムラ・ホールディングスは、国際的な非政府組織であるCDPが公表した「気候変動レポート2023」において、「B」スコアと評価されたことをご知らせします。

CDPは2000年にイギリスで発足した企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを有する国際的な非政府組織(NGO)です。2023年には世界中の24,000を超える企業や自治体がCDPの質問書を通じて環境情報を開示しています。その質問書はTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)に完全に準拠しており、CDPはそれらの環境に関する情報開示を集計・分析し、その取り組みを8段階のレベル(最上位A、A-、B、B-、C、C-、D、D-)で評価しています。

今回、当社が評価された「B」スコアは『マネジメント』のレベルで、「自社の環境リスクやその影響を認識し、行動している」と評価されたことを示すものです。

当社グループは、気候変動への取り組みを重要な経営課題のひとつに掲げ、脱炭素社会の実現に貢献すべく、ガバナンス体制を強化するとともに、事業への影響分析や気候変動による成長機会の取り込み、およびリスクへの適切な対応を推進しています。

温室効果ガス排出量については、スコープ1、2において2020年3月期比で2030年3月期までに実質30%削減、2050年に実質ゼロを目標として掲げ、削減活動を進めております。また、スコープ3に関しては算定中であり、その排出量を把握し削減方針を策定すべく取り組みを進めてまいります。

今後、取引先等と協働し、当社グループの店舗、サプライチェーン、商品提供における温室効果ガス排出量の削減に取り組み、省エネルギー化の推進、事業活動におけるエネルギー効率の向上に取り組んでまいります。

- CDPジャパン
<https://japan.cdp.net/>
- 当社グループにおけるTCFD提言に基づく情報開示
<https://kitamura-group.co.jp/sustainability/tcfd.html>

----- 本件に関するお問合せ先 -----

株式会社キタムラ・ホールディングス
サステナビリティ推進室
メール: info@kitamura-group.co.jp